

貯法：保存条件 室温保存 容器 密閉容器
使用期限：外箱に表示の使用期限内に使用すること

承認番号	16100AMZ00113000
**薬価収載	2012年6月
販売開始	2006年1月
再評価結果	1980年3月

制酸剤

日本薬局方 重質炭酸マグネシウム **重質炭酸マグネシウム「日医工」 Magnesium Carbonate

【組成・性状】

1. 組成

1g中 日本薬局方 炭酸マグネシウム(重質) 1gを含有する。

2. 製剤の性状

本品は白色のもろい塊で、においはない。

【効能・効果】

下記疾患における制酸作用と症状の改善

胃・十二指腸潰瘍、胃炎(急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む)、
上部消化管機能異常(神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む)
便秘症

【用法・用量】

炭酸マグネシウムとして、通常成人、制酸剤としては1日2gを数回に分割経口投与、緩下剤としては1日3～8gを頓用又は数回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 腎障害のある患者
- (2) 心機能障害、肺機能障害のある患者
- (3) 下痢のある患者
- (4) 高マグネシウム血症の患者

2. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質 ミノサイクリン、 ドキシサイクリン、 テトラサイクリン等	これらの薬剤の効果が減弱するおそれがあるので、投与間隔をできるだけあけるなど注意すること。	マグネシウムがこれらの薬剤と難溶性のキレートを形成し、これらの薬剤の吸収を阻害すると考えられる。
ニューキノロン系抗菌剤 ノフロキサシン、 シプロフロキサシン、 トスフロキサシン等 エチドロン酸二ナトリウム セフジニル	これらの薬剤の効果が減弱するおそれがあるので、投与間隔をできるだけあけるなど注意すること。	マグネシウムがこれらの薬剤と難溶性のキレートを形成し、これらの薬剤の吸収を阻害すると考えられる。
他の併用薬剤	併用薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがあるので、慎重に投与すること。	本剤の吸着作用又は消化管内・体液のpH上昇による。
大量の牛乳 カルシウム製剤	milk-alkali syndrome(高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。	腸管からのカルシウム吸収が増大する。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
代謝異常 ^{注)}	高マグネシウム血症
消化器	下痢等

注) 長期・大量投与により発現することがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、減量又は休薬等の適切な処置を行うこと。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：炭酸マグネシウム(Magnesium Carbonate)

性状：水、エタノール(95)、1-プロパノール又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

本品は希塩酸に泡だてて溶ける。

本品の飽和水溶液はアルカリ性である。

【包装】

重質炭酸マグネシウム「日医工」

500g

【問い合わせ先】

日医工株式会社 お客様サポートセンター

〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21

☎(0120)517-215 Fax(076)442-8948